

## 伊達市多目的研修集会施設の廃止について

伊達市多目的研修集会施設（以下「弄月館」という。）は、活力ある農業の確立を目指すため農業の研修や休養など多目的に活動できる場として昭和59年度に設置されました。

近年は老朽化に伴う設備破損や湯量の減少等がありながらも、修繕等を行い運営してきましたが、令和2年12月の設備破損を受け、施設全体の破損個所を調査し、今後安定的な運営を行うためには、修繕費用が約60,000千円であると判明しました。

利用するための湯量の確保が困難なことや、安定的な運営に必要な経費が多額になることを勘案し弄月館の廃止を検討するものです。

### 1 施設の概要

所在地：伊達市弄月町164番地9

開設日：昭和59年10月1日

延べ床面積：899.29㎡（敷地面積：4,000㎡）

補助事業：新農業構造改善事業（昭和58～59年度）

総事業費：245,447千円（うち道補助金118,246千円）

### 2 施設の現状

#### (1) 湯量の変遷

昭和57年の温泉掘削時は204～464 ℓ/分の湯量がありましたが、昭和60年の湯量減少に伴い、井戸の増掘を行ったものの、101～275 ℓ/分まで減少しました。

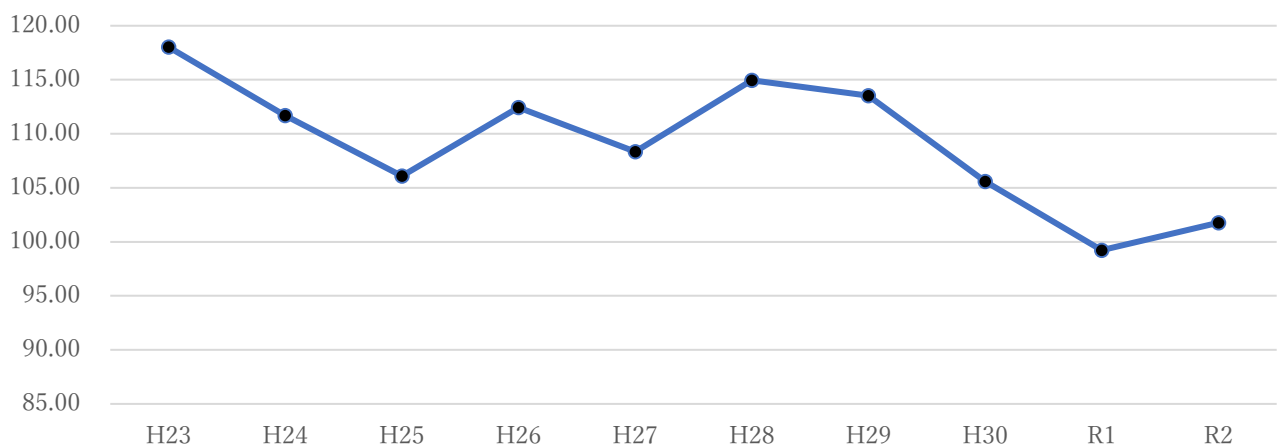
また、平成26年にも湯量減少に伴い、井戸の清掃業務を行いました。湯量は回復せず、現在では100 ℓ/分を下回るまで減少しています。

専門機関(※)に確認を行ったところ、湯量の減少は資源量の減少や地層の目詰まり等が原因と考えられ、湯量を確保するためには新たに井戸を掘削するしかなく、約120,000千円の費用が発生する見込みであると回答を受けています。

(※北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所)

### 過去10年における湯量の変遷

(単位：ℓ)

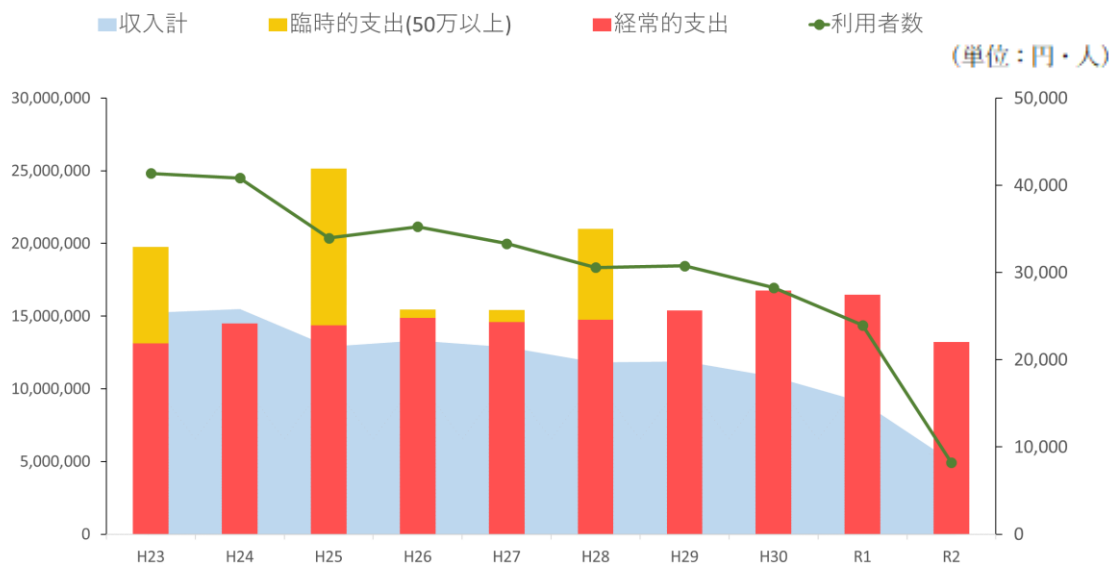


#### (2) 利用者と収支

平成24年度までは収入が経常的支出を上回っていましたが、平成25年度からは収入が経常的支出を下回り赤字が続いています。

現状、維持管理には多額の費用がかかっており、老朽化が進む施設を維持し、安定的な運営を行うにはさらに多額の費用が発生すると考えられます。

利用者数と収支一覧 (H23～R2)



(単位:円・人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
入館者数	41,377	40,842	33,943	35,245	33,326	30,586	30,777	28,263	23,969	8,212
収入計	15,227,450	15,487,350	12,912,630	13,313,970	12,861,370	11,827,970	11,867,500	10,836,110	9,075,560	5,030,730
臨時的支出(50万以上)	6,636,000	0	10,783,500	583,200	820,800	6,242,400	0	0	0	0
経常的支出	13,127,160	14,495,539	14,375,543	14,865,100	14,585,029	14,760,483	15,398,099	16,747,542	16,468,871	13,220,779
支出計	19,763,160	14,495,539	25,159,043	15,448,300	15,405,829	21,002,883	15,398,099	16,747,542	16,468,871	13,220,779
<b>経常的収支</b>	<b>2,100,290</b>	<b>991,811</b>	<b>▲1,462,913</b>	<b>▲1,551,130</b>	<b>▲1,723,659</b>	<b>▲2,932,513</b>	<b>▲3,530,599</b>	<b>▲5,911,432</b>	<b>▲7,393,311</b>	<b>▲8,190,049</b>
総収支	▲4,535,710	991,811	▲12,246,413	▲2,134,330	▲2,544,459	▲9,174,913	▲3,530,599	▲5,911,432	▲7,393,311	▲8,190,049

### 3 現在の対応

令和2年12月から長期にわたり休館が続いたことから、対象者に対し回数利用券の還付を令和4年3月末まで行っています。